

令和 5 年度 61 回生 授業概要(シラバス)

科目名	共通基本技術 (看護技術とは)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1 年前期 2023 年 4 月 14 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 3 単元で構成される ①看護技術とは：2 時間 ②コミュニケーション：14 時間 ③感染看護：10 時間 ④事故防止：4 時間
担当講師名	石崎 美由紀	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	看護実践に必要な基礎看護技術の意義と心構えを学ぶ		
到達目標	今後学習する基礎看護技術の概要がわかり、それらを学習する意義、学習するための心構えを知る		
事前学習内容	特になし		
成績評価の方法	本単元に関する試験等は実施しないため評価しない		
使用教科書	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 第 18 版第 2 刷 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 第 18 版第 2 刷 医学書院		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	看護技術とは何か 看護技術を適切に実践するための要素 (テキスト：基礎看護技術Ⅰ p 2～15)		講義
履修上の留意点	上記テキストの範囲を必ず読む		

令和5年度 61回生 授業概要(シラバス)

科目名	共通基本技術 (コミュニケーション)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1 年前期 2023 年 4 月 17 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 3 単元で構成される ①看護技術：2 時間 ②コミュニケーション：14 時間 ③感染看護：10 時間 ④事故防止：4 時間
担当講師名	石崎 美由紀	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	コミュニケーションの基本を学び、看護実践の場におけるコミュニケーションの方法を学ぶ		
到達目標	1. コミュニケーション能力を身につけるために、自分自身の思いを言語や行動で表現することの意義を理解する 2. 患者と看護師間の意思の疎通と信頼関係を成立させるためのコミュニケーション技術がわかる 3. 演習をととして、自分自身のコミュニケーションに関する課題を認識する		
事前学習内容	特になし		
成績評価の方法	本科目は 3 単元の合計点（100 点満点）が科目の成績となる （コミュニケーション：50 点／感染看護：40 点／事故防止：10 点） ※本科目の 3 単元の合計点が 60 点未満の場合は、3 単元全てが再試験となる		
使用教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 I 第 18 版第 2 刷 医学書院		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	コミュニケーションの意義と目的 (p18～22) (1) コミュニケーションの意味・特徴 (2) 看護・医療におけるコミュニケーションの特徴・重要性		講義
第 2 回	コミュニケーション演習 (1) 挨拶 (2) 状況に応じたコミュニケーション (3) 感情に対応するコミュニケーション		演習
第 3 回	コミュニケーションの構成要素と成立過程 (p23～29) (1) 5 つの構成要素：刺激、送り手、メッセージ、伝達経路、受け手 (2) ミスコミュニケーション		講義
第 4 回	関係構築のためのコミュニケーションの基本 (p29～41) (1) 接近的コミュニケーションの原理 (2) 基本的態度：寄り添う態度、わかろうとする態度 ほか		講義/演習
第 5 回	効果的なコミュニケーションの実際 (1) (p42～48) 傾聴の技術：共感的理解、非言語的メッセージ、聴き方		講義/演習
第 6 回	効果的なコミュニケーションの実際 (2) (p48～56) 情報収集の技術：オープンクエスション、クローズドクエスション、説明技術 感情探索の技法 表出された感情に対応する技法		講義/演習
第 7 回	コミュニケーション障害がある人への対応 (p56～62) (失語症・構音障害のある人、認知症、意識障害のある人)		講義/講義
履修上の留意点	1. グループワークを指示された場合は、相手の考えを尊重しながら建設的な意見を出すよう努める。 2. 普段の生活から人に関心をもち、相手のことを知る・わかる、自分のことを知って・わかってもらおうとする気持ちをもつことを意識する		

令和5年度 61回生 授業概要(シラバス)

科目名	共通基本技術 (感染看護)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1 年次前期 令和 5 年 5 月 16 日	単位数/時間	1 単位/30 時間のうちの 10 時間 本科目は以下の 4 単元で構成される ①看護技術とは：2 時間 ②コミュニケーション：14 時間 ③ 感染看護：10 時間 ④事故防止：4 時間
担当講師名	吉川 百合江	所属・役職	宮古県立宮古病院・看護師長補佐
		資格・免許	感染管理認定看護師
授業の概要	感染症の基礎知識、標準予防策を含む感染防止策の基本的な考え方と技術を学ぶ		
到達目標	1. 感染症の基礎知識を理解できる 2. 感染防止策を理解し実践できる		
事前学習内容	授業内容に関連した教科書の内容を読む		
成績評価の方法	試験(40 点分) 本科目は 3 単元(コミュニケーション(50 点)+感染看護(40 点)+事故防止(10 点)) の合計 100 点満点で評価し、3 単元合計の得点が 60 点未満の場合は全単元が再 試験の対象となる		
使用テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [2] 基礎看護技術 I, (医学書院), 2023 2. 看護技術プラクティス, 学研メディカル秀潤社, 2021		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	感染とその予防の基礎知識、標準予防策		講義
第 2 回	感染経路別予防策、洗浄・消毒・滅菌、無菌操作		
第 3 回	感染性廃棄物の取り扱い、針刺し防止策 医療施設における感染対策		
第 4 回	手指衛生、個人防護用具の着脱		演習
第 5 回	滅菌物の取り扱い		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する 3. 新型コロナウイルス禍にある過酷な状況の中で授業に来ていただいている講 師に、感謝の気持ちをもって授業を受ける		

令和 5 年度 61 回生 授業概要(シラバス)

科目名	共通基本技術 (事故防止)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1 年前期 2023 年 5 月 8 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 3 単元で構成される ①看護技術：2 時間 ②コミュニケーション：14 時間 ③感染看護：10 時間 ④ <u>事故防止</u> ：4 時間
担当講師名	石崎 美由紀	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	医療事故、事故防止への取り組みの概要を理解し、事故防止策と安全管理を学ぶ		
到達目標	1. 医療事故の発生要因を理解し、事故防止策の基本を知る 2. 看護師が当事者となる事故にはどのようなものが多いか、看護業務の特性と併せて知る 3. 事故防止のために講じるべき対策を知る		
事前学習内容	特になし		
成績評価の方法	本科目は 3 単元の合計点（100 点満点）が科目の成績となる （コミュニケーション：50 点／感染看護：40 点／事故防止：10 点） ※本科目の 3 単元の合計点が 60 点未満の場合は、3 単元全てが再試験となる		
使用教科書	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 I 第 18 版第 2 刷 医学書院 2. 医療安全ワークブック 第 4 版第 4 刷 医学書院 3. 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術 医学書院		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	医療事故発生のメカニズム ヒューマンエラー		講義
第 2 回	医療事故防止策 ①患者誤認防止 ②誤薬防止 ③転倒・転落防止 ④薬剤放射線曝露防止		講義
履修上の留意点	将来医療従事者となることを意識し、自身に直接関わることとして捉えて授業に臨んでほしい		